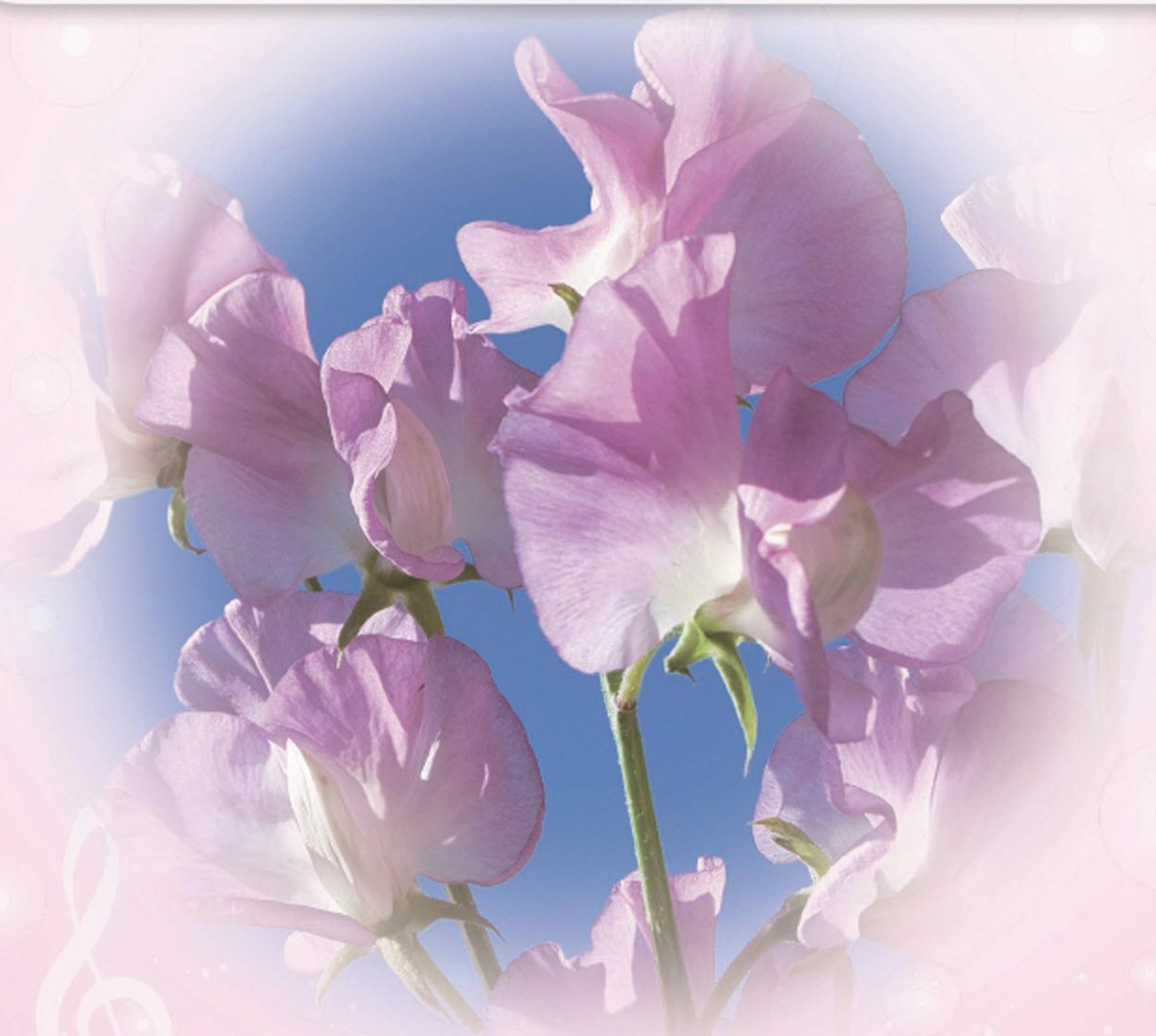


は～もにいい

Harmony

「は～もにいい」には、「調和」や「和音」という意味があります。男女がお互いに尊重し、支え合い、仕事と家庭のよりよいバランスを考えて行くことによって、より心地よくもっと心に響くハーモニーを奏でられたら…そんな願いを込めて本紙に名付けました。



TOPIC

◆ 取材記事

地域の女性支援活動「特定非営利活動法人 あさがお」のご紹介

◆ 男女共同参画講演会「はじめての LGBTQ ～性の多様性と人権～」

令和4年、「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」が成立し、令和6年4月1日より施行されます。

これを踏まえ、男女共同参画情報紙「は～もにい」第19号では、相双地域にて女性支援の活動を行っている「特定非営利活動法人 あさがお」（以下「あさがお」と記載）について取材しました。

地域の女性支援活動「あさがお」のご紹介

「あさがお」3人の相談員に聞きました。

- ・西 みよこさん（あさがお理事長、社会福祉士、精神保健福祉士、介護支援専門員）
- ・嵯峨 圭子さん（保健師）
- ・森 桂子さん（介護福祉士）



さばつなあさがお

【嵯峨さん】
いっしょに
考えましょ!

【森さん】
いつでもお話を
聞きますよ。

【西さん】
決してひとりじゃないですよ。
いつでも気軽に相談してください。

○「あさがお」はどのようなところですか？

「あさがお」は、障がいを持つ人が、人間らしく生きる権利を確保することを目的として設立された特定非営利活動法人です。障がいを持つ人が人として生きる権利を持ち、社会復帰・社会参加をするための事業を行っています。



障がい福祉サービス事業・障がい児相談支援事業とともに、一般相談支援事業、まちづくりに関する事業も行っていきます。

○どうして女性支援活動を始めたのですか？

これまでの障がい者支援に加え、女性が直面するさまざまな問題に、少しでもお役に立ちたいと思ったのが始まりです。「福島県男女共生センター」から、コロナ禍で困難な状況にいる女性の相談等支援をする事業を受託したことをきっかけに、相双地域の女性支援活動の拠点として、令和4年6月から相談窓口を開設しました。家庭のこと、子育てのこと、仕事のこと、人間関係のことなど、“悩みをひとりで抱えることのないよう”に、生活全般についてなんでも気軽に相談していただけたらと思います。

○具体的にどのような活動をしていますか？

①出張相談

ゆっくりお話ができるよう、相双地区の施設にて月に1度、出張相談窓口を開設しています。主な場所は以下のとおりです。

- ・相馬市総合福祉センター
- ・南相馬市社会福祉協議会
- ・富岡町文化交流センター 学びの森
- ・浪江町ふれあい福祉センター（コーヒータイム）



②講座の開催

相談だけでなく、みんなで気軽に楽しむことのできる講座を開催しています。これまでかしま交流センター等で、生涯学習課の「まちづくり出前講座」を利用し、毎回内容を変えながら、ヨガやハンドケア、アロマなどの講座を開催しました。予約不要でどなたでも参加できます。また、ご要望の講座も開催可能です。

③電話相談など

個人のお宅へ相談に伺うことや、お電話での相談対応も可能です。また、生理用品の提供も行っています。

○相談したいけれど、お金がかかりますか？

相談も講座費用も、無料です。

ご相談や講座開催日については、下記の連絡先にお問合せください。

連絡先 特定非営利活動法人 あさがお

〒979-2335
南相馬市鹿島区鹿島字上沼田120
電話番号: 080-4084-7641
080-4084-7642
0244-46-2527



～事業報告～



男女共同参画講演会「はじめてのLGBTQ ～性の多様性と人権～」

令和5年9月30日(土)、南相馬市民情報交流センター マルチメディアホールにて、NPO 法人東京レインボープライド共同代表理事、杉山 文野(すぎやま ふみの)さんをお招きし、男女共同参画講演会を開催しました。

杉山さんは、LGBTQの啓発を中心としたイベントの運営、全国各地で年間100本を超える講演会やメディアへの出演など、多岐にわたる活動をしています。

同講演会では、基本的な用語や統計を用いた分かりやすいご説明と、当事者として、幼少時代から現在に至るまでの体験を交えたお話をいただき、LGBTQについて理解を深めることができたとともに、改めて多様性と人権について考えるよい機会となりました。



「東京レインボープライド」

「ハートをつなごう学校」

杉山さんが代表理事を務める
NPO法人ホームページのご案内



■同講演会に参加された方々からの感想です。 (参加者アンケートより抜粋)



今回の講演会で、自分の考えを子どもたちに話せる自分になりました。ありがとうございました。

男の子はこう、女の子はこうであるべきという刷り込みを、社会全体で変えていこうと思いました。

LGBTQに対して理解が深まりました。差別がなくなっていくように自分も変わっていきたいと思います。

杉山さんが当事者であることで、気持ちが生の言葉で伝わってきました。

お話を聞いて、「そのままでもいい！」と言えることはなんてすてきだろうと思いました。

福島県でも同性のパートナー証明書が発行されるように期待したいです。

この情報紙は、南相馬市男女共同参画計画推進委員会 広報・情報紙部会の委員が企画・編集しました。「は～もにい」へのご意見・ご感想などをお寄せください。

また、地域で頑張っている方、男女共同参画を推進している職場の情報などをお寄せください。



南相馬市男女共同参画HP

発行：2024年2月

編集：南相馬市教育委員会事務局生涯学習課

〒975-8686

福島県南相馬市原町区本町二丁目 27 番地

TEL：0244-24-5249

E-mail：shogaigakushu@city.minamisoma.lg.jp